国土交通省
道企第176号
19.5.31

礼　総　総　号
平成19年5月1日

国土交通省道路局長　様

礼文町長　小　野　　徹

礼文町長之印

道路整備中期計画作成に係る意見の提出について

このことにつきまして、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

道路整備中期的計画に対する意見

北海道礼文町

本町は、離島という地理的条件にあって、島内の道路網に「国道」は無く、「道道」を主要幹線として、これに「町道」が枝線として点在しています。

「道道」は、主に海岸線に位置し背後は急傾斜地でS字が連続し、幅員は狭く歩道未整備箇所も多く存在しています。

「町道」も、狭隘で凹凸路面、歩道未整備など未改良路線が多い状況にあります。

町民の通院・通勤や消費活動、主産業の水産生鮮物の輸送、観光産業における年間２５万人の観光客の大型バス等による移送など、道路網の整備は町民生活と産業振興に直接影響するものでございます。

特に、地形的要因から道道、町道とも高潮や地すべり・雪崩対策の未整備箇所が多く、また、交通安全対策の面からも、生活・産業道路として機能を維持するため改良整備が求められております。

また、「国道」に関しては、前述のとおりでありますが、本町の主産業である水産物市場は道内では札幌市を中心とした地域、更に道外地域であり、その輸送手段は生鮮時代の今、大型保冷車によるスピード輸送が不可欠となっています。

更に、観光産業においても、本町を含め道北観光の大半が、道内各拠点地域からツアーバスで直接入込むパターンが増加している現状であり、特に、今後の道北区間における道路網の整備は、道北地域と道央地域をはじめとする道内各地域との高速化のため、本町にとっても重要な課題でございます。

また一方で、高度医療の整備が立ち遅れている道北地域では、「国道」は救急対応など大切な生命をつなぐ道としての役割を担っており、道北地域から名寄市や旭川市、札幌市などの高度医療機関への救急搬送の大切なルートです。

以上のことから、地方における道路網の整備はまだまだ必要であり、また、単に費用対効果の論議は、地方における住民生活の向上や地域振興の面で地域間格差を生むものであると考えております。

均衡ある地域の発展を図るためにも幹線道路をはじめ地域路線の景観や環境にも考慮した道路網・高速交通ネットワークの整備促進を図るべきであります。

また、離島である礼文町にとっては北海道本土との連絡は、唯一、海上航路の「稚内～利尻礼文航路」しかない状況から、この航路を是非とも「国道」に昇格していただきたいと常々考えております。

更に、島の産業の活性化を図り、島の人たちの生命をつなぐため、現在ある

８００メートルの礼文空港の滑走路を１５００メートルに整備していただきたいと思っています。

　私たちは、利尻空港や稚内空港を利用していますが、フェリーが欠航すると島から一歩も出ることができません。救急時には命を失ってしまうことさえあるのです。

だから、現在礼文にある空港が整備されれば、安心・安全が確保され活性化が図られます。

また、利尻や稚内の空港を利用できるようにするためにも、安定した海上交通の確保が必要となりますので「稚内～利尻礼文航路」の「国道」化が必要と思います。